肥満指導評価の視点

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　福島県教育庁健康教育課

　これは、指導者が保健指導のやり方を見直すための資料として使用します。

個別指導の内容を振り返り、指導を行った後の児童生徒や保護者の変化を観察していきましょう。

１　児童生徒の学習の評価（児童生徒の知識・スキル・態度の変化）

　□　児童生徒が規則正しい生活習慣に関心を示すようになった。

　□　児童生徒が体重や肥満度の変化に関心を示すようになった。

　□　児童生徒が食事の内容や食べる順序に関心を示すようになった。

　□　児童生徒がおやつの内容に関心を示すようになった。

　□　児童生徒が体を動かすことが必要だと思うようになった。

２　児童生徒の行動の評価（児童生徒の具体的な食習慣改善など行動に関する変化）

　□　児童生徒が規則正しい生活時間を送るようになった。

　□　児童生徒が体重をこまめに測るようになった。

□　児童生徒が食事の栄養バランスや食べる順序に気を配るようになった。

□　児童生徒が食事の量や内容を調整するようになった。

□　児童生徒がおやつの量や内容を調整するようになった。

　□　児童生徒が身の回りのことを積極的に行うようになった。(お手伝いなど)

□　児童生徒が外で遊んだり運動したりすることが増えた。

３　環境の評価（児童生徒の家庭等環境に関する変化）

□　家族が規則正しい生活時間を送るよう働きかけるようになった。

□　家族が体重や肥満度の変化に関心を示すようになった。

□　家族が食事の栄養バランスや食べる順序に気を配るようになった。

□　家族が食事の量や内容に気を配るようになった。

□　家族がおやつの量や時間を決めて提供するようになった。

　□　家族が運動の機会を増やすように働きかけるようになった。

４　環境の評価（児童生徒の学校環境に関する変化）

　　□　担任が肥満の改善に意図的に関わってくれるようになった。

　　□　部活動顧問や教科担任等が肥満の改善に意図的に関わってくれるようになった。

５　児童生徒の肥満度の改善に関する評価

□　児童生徒の肥満度が改善した。

□　児童生徒の成長曲線の体重のラインが基準線と平行し、増加していない。

□　児童生徒の成長曲線の体重のラインが下の基準線に緩やかに近づいている。

６　個別指導実施に関する評価

□　学校医・主治医との連携ができた。

□　学校内関係教職員との連携ができた。→□ 担任　□ 栄養教諭等　□ その他（　　　　　）

□　児童生徒のアセスメントと指導計画は適切であった。

□　使用した指導資料は適切であった。

□　児童生徒や家族の心理面に配慮できた。

□　児童生徒および保護者と良い関係づくりができた。

来年度の　　　　　　さんへの指導の重点事項：